



# まつぼつくり

学校教育目標「支え合い・学び合い、多様な達成感を体感し、ふるさとを愛する児童の育成」

## みごとなできばえ

5年生は、今年度戸馳島にある田んぼをお借りして、もち米づくりに挑戦しました。総合的な学習の時間での学習です。地域のたくさんの方のご協力を得て、実現できたことです。今回は、元本校用務員の櫻井先生に協力いただき、赤飯づくりに挑戦しました。赤飯づくりといっても、ほとんどが炊飯器やってくれますので、5年生は手をきれいに洗ってのパック詰めを主にがんばりました。きれいなおもてなしの包み紙を作つ

て感謝の気持ちを前面に出しました。担任の植田教諭や櫻井先生が、責任を持って池田さんや田尻さん、尾

崎さん、上村さんや木村さんなどお世話になった方々へ届けました。きっとおいしくお召し上がりくださいたことだと思います。私までいただいたので帰宅してからいただきましたが、本当においしかったです。おかわりしたいくらいでした。5年生の皆さん、協力してくださった地域の方々、本当にありがとうございました。

5年生は今回の米づくりを体験したことで、多くのことを学ぶことができました。そして、食べ物への感謝の気持ちが大きくなりまし

た。これからも命をつなぐ食べ物への感謝、それに関わっておられる方への感謝の気持ちを持ち続けてくれることと思います。5年生のみなさん、繰り返しになりますが、ありがとうございました。

がんばった5年生



おもてなしの赤飯

## 教育課程の編成

教科の国語や音楽には年間標準時数というものがあります。例えば6年生の国語であれば、45分を1時間として175時間を1年間で授業をすることになっています。すべての教科において標準時数が決めてあるので、現在それを満たすように令和8年度の計画を立てている最中です。今年度は夏休み後から前期の終了までの金曜日を午前中授業としましたが、来年度は1年間の中の4ヶ月ぐらいの水曜日を午前中授業にしようと、校長の責任において思案しているところです。今後詳細がはっきりしてきいたら、お知らせしていく予定ですので、どうぞご理解・ご協力をお願いいたします。これを実施するためには、多くのことをクリアしなければいけません。不明な点はいつでも学校の管理職へお問い合わせください。

櫻井先生と



パックによそいます



赤飯を持ってくれた素直で元気で明るい5年生